



# たもんじ 2024年2月号 交流農園 便り Vol.71



## 第9回 安倍康浩・幸子&こぐま農縁一同

### 一杯のコーヒーから広がる、人とのつながり “Free Coffeeの試み”

NEXT STAGE  
～次に私がしたいこと～



「一杯のコーヒー」を片手にちょっとした話ができれば？ それが交流のきっかけになるのでは？ そんな思いからこの試みを始めようと思いました。

使用するコーヒーは、農園に「KURAMAE モデル堆肥」を提供してもらっている蔵前の焙煎処「縁の木」のコーヒーをメインにする予定です。縁の木さんのコーヒー、美味しいですよ。でも淹れるのは私達素人ですので、優しい目で見てくださね。

3月から月一回ペースで始めていく予定ですが、スケジュールなどはあらためてお知らせします。農園を眺めながら、いっしょにコーヒーのある時間を楽しみましょう！

たもんじ交流農園でフリーコーヒーを始めます。「フリーコーヒー」とは文字通り「Free＝無料」でコーヒーを振る舞う取組です。農園会員、農園部員、てらたま会員のどなたでも飲んでいただけます。そして、見学に来た人やご近所の人、たまたま通りがかっただけでもOK。飲む側も「Free」ということですね。なぜ「フリーコーヒー」をするの？ それは、農園での交流を今まで以上に盛んにしたいから。これまでも畑作業やてらたま協議会の活動を通じて交流はできています。でも、まだまだお互いに名前を知らなかったり、挨拶しかできてなかったりしていませんか。作業の合間のひととき、ふらりと農園に来たとき、てら

たまのみんなが作ったウッドデッキで「一杯のコーヒー」



足立区の寺院全學寺では7年前からフリーコーヒーを開催し「地域団らん」に貢献



KURAMAE モデル堆肥による資源循環を行っている珈琲焙煎処「縁の木」の白羽玲子さん



ウッドデッキでコーヒーを飲みながら、話に花を咲かせましょう

## 1/21(日) フル1ハーフ2区画耕作者抽選会にて新たな仲間誕生!!

1/21(日)、生憎の雨ではありましたが、2024 たもんじ交流農園のフル1区画とハーフ2区画の耕作者抽選会が、『葉っぱ踏み踏みスタジオ』（仮称）にて開催され、商店街からお借りした福引きガラガラによる厳正なる抽選の結果、3月引



葉っぱ踏み踏みスタジオ



一番を引き当てた秋葉さん



抽選結果

渡しのフル区画には現在可動式プランターを使われている、秋葉さん・関根さんのコンビが、2月引渡しのハーフ区画には、ちーむ小川に所属されている岩脇さんと、新たなメンバーとして宮田さんが当選されました。

そして2/11(日)に宮田さんが、翌2/12(月)に岩脇さんが、引渡し式にて「お願いの書」を受理、「初鋤入れの儀」も経て、たもんじ交流農園の新たな仲間が誕生いたしました。(お人柄等については次号に掲載予定)。

残念な結果になってしまった皆さん申し訳ございません。今回の当選者のうち3名は過去残念な結果になっ



宮田さん 引渡式



宮田さん 初鋤入れの儀



岩脇さん 引渡式



岩脇さん 初鋤入れの儀

てしまった経験者でもあり、次の機会をお待ち頂くようお願い致します。(末林記)

# 1/28(日)ピオトーブ改修工事、泥団子作りに熱中!?



泥団子を池の底に並べる

昨年夏、十数頭の蛍が飛び交った「ほたるのすみか」プロジェクトが今年はピンチ！ 池の水位が低下しており、要因として考えられる ①池の防水シートの破れ、と ② 井戸水の水量不安定に対応すべく、1/14(日)、池の水を抜いて、砂利を取って乾かすと共に、井戸をもっと深く掘り下げるために足場を組み立てました。

そして1/28(日)、新たに底面に敷き詰める、ベントナイトと荒木田粘土での団子づくり「コネコネにぎにぎバンバン」イベントを開催したところ、子供さんから大学生まで、沢山の仲間にご参加頂



プランターに種をまいて温室に



混ぜて、砕いて、練って泥団子に

き、たもんじ交流農園は大賑わい！ 「泥団子作り」って、こんなに楽しかったっけ?? 寺島なすの植え、ナチュラルガーデン(ハーブ園)整備、新たな井戸掘りも始まって、皆んなの笑顔が弾けました。ご参加頂いた皆さん、寒い中、ありがとうございました(末林記)



博士も大活躍



新しい井戸掘り

## 児童館の子供たちが「菌ちゃん畝」作りに来てくれました!



2/10(土)、墨田児童館の子供達に来てくれて、共用区画の「菌ちゃん畝」作りを手伝ってくれました。

菌ちゃんの餌になる、竹や小枝チップ、ヨシや藁、籾殻を乗せて、土を被せて、完成！ 土にさわったり、小枝やヨシを折ったりするだけで、無我夢中で楽しそう。あっという間に素敵な「菌ちゃん畝」が出来上がりました😊(小川記)



## 地域再生大賞 優秀賞 受賞!!

地域再生大賞とは、47の地方新聞とNHKおよび一般社団法人共同通信社が主催し、NPOなどの優れた活動に贈られる表彰で、14回目の今年は「つながる、多様性が拓く」をテーマに選考がなされたとのこと。てらたま協議会は、残念ながら賞金が出る大賞等は逃しましたが、優秀賞を受賞し、1/28の東京新聞に掲載、2/18農園にて賞状とタテを

授与頂き、その模様は翌2/19付け東京新聞に掲載されました。(末林記)



## 今、ハマってます!

## 第31回

## 栗原典子さん (区画11-2)の場合



私のハマっている事は、DIYと着物のリメイクです。農園のオレンジ色のかわいいベンチを見て、私も作りたいと思い、庭に小さい縁台を作りました(以前に紹介してもらいました)。去年、久しぶりに花火大会が開催されると聞き、ウッドデッキ風に庭に作り直しました。台所のテーブルも大勢で使える様にしたいと買い換えるのはもったいないので、厚い板をホームセンターで探して天板の上に止め、角を丸く削り柱に当たる所は切り込み入れたり、面取り、板のヤスリをかけた後、ニス塗り楽しみながら完成しました。新年会は、広くなったテーブルで焼き肉したり、おせち料理を並べても余裕があって私はニコニコでした。

着物のリメイクは、普段着る機会もなくなりましたので、作業衣に作り直し、自転車にも乗れる様にもんぺ風に直しました。買い物用の袋も作ってみました。もっと色々作れば挑戦してみたいと思っています。



## この度作った温室の狙いと工夫、使い方(牛久光次さん、富澤正佳さん)



**牛久** この度、温室を作りました。  
**富澤** 温室を作った狙いは、①たもんじ交流農園で自前で寺島なすの育苗ができるようにしたい、②同じく接ぎ木を自前でできるようにしたい、の二つです。育苗の必須条件は、最低温度を15℃以上にキープすることなのですが、去年は上手くいかず、温床があればいいなと考えました。  
**牛久** 今まで星野農園さんから購入した、接ぎ木苗を皆さんにお配りしていましたが、せっかくだからたもんじ交流農園で、自前で純粋な寺島なすを作りたいと思い、温室を作りました。工夫した点は、風にも強いように、ビニールを貼るのではなく、断熱性もいような

中空のものを使ったり、あと畳屋さんにとてもいい畳が入ったので、それを底と立ち上がりの部分に敷いたりしたことです。

**富澤** 落ち葉を集めて、それを踏み込むと温度が上がるのですが、これは踏み込んで空間を潰して嫌気性?の状態にすると発酵が促されるということなのですが、今のところ地中温度が25℃くらいにしかならず、もうちょっと地中温度が40℃~50℃はキープしたいなと思っており、悪戦苦闘している状況です。

**牛久** そういった発酵熱が、資源循環的に非常に良いんじゃないかと思っています。一般的に大きな農家さんたちは、ボイラーを焚いたりしますが、エネルギー的SDGs的にはよろしくないと思われ、発酵熱・自然の熱を利用しようというのが一番の狙いです。なので、めげずに頑張ろうと思っています。

**富澤** また出来上がった後の土が、腐葉土になり、それが来年再来年の土になりますので、今後は、土を買わなくてもいい方向になると思われそうです。

**牛久** また来年もいろんなところで落ち葉の処分に困っているところから集めて来て、ここでまた育てるという循環を進めていくことが、たもんじ交流農園らしくて良いんじゃないかなと思います。

**牛久** たもんじ交流農園の利用者の方も是非これを使ってもらいたいと思っています。夏野菜をやる場合、種を撒いて芽が出るまでは温室で育ててもらって、その後、自分の畑に持って行ってもらいたい。ただ、まだまだ棚も作らないといけませんので、今後にご期待頂ければと思います。よろしくお願い致します。



### “てらたま農園部から”

### 第27回～踏み込み温床作り顛末記～



思い返せば去年の今頃・・・、寺島なすの育苗に悪戦苦闘。かなり厳しい結果となってしまったことをきっかけに、寺島なすの育苗と接木をたもんじ交流農園の自力で成し遂げることを目的に、温室での栽培を思い立ち、昨秋からの皆様のお力で立派な温床ハウスが年末に遂に完成しました！そこで温床の中に大量の枯葉を集め、米糠を加え皆さんと1月中旬に踏み込みを開始、心を込めて何度も何度も踏み込みを続けました。



が、問題発生！1週間たっても地中温度が27℃程度で、何故か発酵が始まりません。ハウスの温室効果だけの暖かさで、1月末に蒔いた寺島茄子の発芽は今のところ順調ですが、温床表面最低温度が15℃をKEEPできてないためとても心配な状況となっています。2月に入ってからは発酵を促すため米糠を加え、踏込し直し、2/18には一部に牛糞+KURAMAE 堆肥を加え、更に踏込し直しました。発酵加速をお祈りし、2/末まで様子見です。今後も試行錯誤しながら皆様と楽しく過ごしたいと思っておりますので宜しくお願いいたします。



## “たもんじ交流農園”が、農林水産省のHPに掲載されました。



令和5年度『都市農業にトライ』-持続可能な都市農業を目指して-という冊子の中で、「都市農業を未来に繋げる」ための参考事例として、都市部におけるコミュニティ農園の一つとして「まちなかのコミュニティ農園で江戸野菜・寺島なすの復活！」と紹介されています。(牛久記) <[https://www.maff.go.jp/.../kouryu/tosi\\_nougyo/t\\_okonau.html](https://www.maff.go.jp/.../kouryu/tosi_nougyo/t_okonau.html)>



# たもんじ交流農園利用心得他を改訂!!

この度、設立時以来6年ぶりに「たもんじ交流農園利用心得」および「同使用契約書」を改訂いたしました。主な改訂点は以下(下線部分)です。

1《表現の変更》	この利用心得は、農園会員と NPO 法人 寺島玉ノ井まちづくり協議会 (以下「てらたま協議会」という) が共に助け合い、良好な耕作環境を確保することを目的とします
3-(2)《追加》	<u>なすの栽培については、『寺島なす』のみとし、それ以外のなすは栽培しない。</u>
3-(3)《削除》	<u>果樹や、多年生作物を栽培しない。(削除)</u>
3-(3)《追記》	原則、 <u>無農薬、有機栽培とする。</u> どうしても農薬や化学肥料を使用する場合や、 <u>無機</u> の培養土等を使用する場合は、 <u>事前にてらたま協議会に相談して、許可を得てから使用する。</u>
5《追記》	耕作区画内は、 <u>適宜除草する。</u> 除草ぶつ・野菜クズ等は、 <u>所定の堆肥コンポストへの投入、廃棄(持ち帰りないし所定の廃棄ぶつ袋等)により処分する。</u> 堆肥コンポストに投入する場合、 <u>野菜クズは5cmくらいにカットし、根っこ、病気の作物等は入れずに廃棄するものとする。</u>
7《追記》	農園内に保存してある腐葉土、培養土、油かすや骨粉等肥料や堆肥、石灰等の土壌改良剤、酢酸等の防虫剤等、およびマルチ等の消耗品は、 <u>自由に使用してよい。</u> また、 <u>鍬やショベル等の農具、ポール、ネット等貸出用用具は、他の農園会員との共同使用を理解した上で、大切に使用し、使用後は必ず水洗いし、元の場所に戻す</u>
10《追記》	自身が使用する区画および使用を許可された物置き内の共用部分以外の共用部分に私有物を放置しない。
11《変更》	園内にペットを同伴する場合は、 <u>ウッドデッキまでとし、その場合でも抱っこないし専用のゲージに入れることとし、放し飼いはしない。</u>

改訂後の利用心得全文は、農園内に掲示しておりますので、ご覧頂けたら幸いです。(末林記)



## うちの畑じまん 第37回 可動式プランター B

### 平田さん 北さん



ミッチー (私平田)

マッキー (北さん)

可動式プランターの平田美恵子です。私達のプランターは、春風に乗ってやってきて晩秋の風で去っていった干場さんが、去年春の抽選で外れたマッキー(北さん)とミッチー(私)を誘ってくださり、三人で可動式プランターを使用する事になりました。

彼は「協生農法」で丸いプランターにエゴマ、トウガラシ、そら豆、ブルーベリーを植え、丸いプランター以外の場所は私達が使用する事にしてくれました。そして、彼が用意していたタネを下さったので、早速、私達は欲張ってタネを所狭しに蒔いたり埋めたり大騒ぎ。北さん「カモミールのタネが飛んでしまった〜」、私「どこに何の種を蒔いたかわから無い〜。どうしよう〜」、その様な話をそばで聞いていた干場さんは、「大丈夫、心配いらぬですよ〜」とニコニコ笑っていたお顔が印象的でした。

そしてその時蒔いたタネの芽が出る度、一喜一憂しながら成長を楽しみました。小さなプランターの小さな野菜のアパート。ダイコン、かぶ、ニンジン、そら豆、枝豆、紫蘇、インゲン、その後はプチトマトや寺島なすができて今はサヤインゲンと小松菜、ニラ。干場さんの丸いプランターに、今はブロッコリーが実っています。思いの外、狭い場所に少量でもいろいろな野菜ができて自分自身驚いています。

キッカケを作って下さった干場さんにはとても感謝しています。今年も可動式プランターで、楽しみながら野菜を育てていくことを続けていきたいと思っています。



水口アドバイザーご指導日: 3/24(日) 4/14(日) 10:00~15:00 | 農園部作業日: 毎週日曜 9:00~



たもんじ交流農園便り  
No.71 般 2024.2.29 発行  
題字 田村風来門  
編集 末林和之



てらたま協議会  
(NPO 法人 寺島・玉ノ井まちづくり協議会)  
問い合わせ先 小川 剛(080-3421-3115)  
▲セブン-イレブン 記念財団 (2018年 2020年に助成金を頂きました)

